



公立の中学校では珍しい海外への修学旅行を今年初めて実施した和寒中学校に取材させていただきました。
高橋校長、中井教頭、修学旅行の実行委員を務めた、中学3年生の西田莉瑚さんにお話を伺いました。



台湾の学校を訪問して
どうでしたか？

学校の規模がとても大きくて驚きました。

生徒数も3000人程で、日本語クラスや英語のクラスが有り国際的だと感じました。

現地の学生と交流した
と聞きましたが、内容は？

今回の訪問において町や和寒中学校の特徴を紹介するスライドを作成して、現地の学生に自分たちが英語で説明しました。

日本との違いは？

挨拶の仕方が日本と違って、台湾は言葉だけでなく、握手をするのが普通でした。

現地の言葉は？

主に台湾語ですが、日本語を話せる人がとても多かったです。

現地の食べ物？

多くの料理でしそのような味の香辛料が使われていました。

芋とお米をすったもちが美味しかったです。

国際交流を通じて感じたことは？

台湾の学生との交流で、言葉だけでなくうまく伝わらないことが多かったですが、諦めないでジェスチャーだったり、翻訳アプリを使うことで、相手に思いが伝わり仲良くなることが出来たので、海外では言葉だけではなく、伝えようとする姿勢が大切だと感じました。



高橋校長から

和寒町や町民皆さんのサポートのおかげで、今回初めての海外修学旅行を実施することが出来ました。

生徒達にとって、とても貴重な経験となり、大変感謝しております。



取材を通して

お話を聞き、学生だからこそ得られる貴重な経験になったと感じました。今後和寒町から助成を受けながら、海外の修学旅行を継続的に実施していただきたいと思います。

議会傍聴のご案内

定例会の予定
9月17日(水)・18日(木)

みなさまのお越しをお待ちしています

6月定例会の傍聴者

7名

広報委員の一言

北海道は以前なら、シトシト雨が降るくらいでしたが、近頃は本州並みにザーザー降り、夏は30℃以上の真夏日がだんだん多くなっています。

今までなら、窓を開けたり扇風機の使用で凌げていた夏が、エアコンがないと過ごせないように感じます。

昼間、出歩くのが辛い暑さですが、夜に町内を散歩される方がほかの季節より多いように思われます。

健康診断で引っかかった方やそうでない方も早朝・夜は少し涼しいので健康のため、暑い夏を乗り切るためにも散歩してみませんか？(久美子)